

日本からの社員を派遣させて、中国での経営をやらせようと思しますが、これからは現地の人にもっと任せないといけないと思います。現地の人材を育成し、どんどん重要な仕事を任せていけば、従業員として仕事のやりがいを見出し、自然に同じ会社で働きたいと思うようになると思います。今は、色々問題がありますが、解決出来ないわけではないと思います。

現在、日本企業の中でも、利益をたくさん出している会社もあります。

それは、現地の事を良く考えて、やり方も日本の方式をそのまま持ち込むのではなく、現地の人とうまくコミュニケーションをとり、現地にとってふさわしいやり方をとっているからだと思います。

これから私は、どういう風に問題を解決させて、日本企業と中国企業の共生を促進させていくか、ということについて研究を重ねていきたいと思します。

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



手を貸そう
LEND A HAND

2003～2004年度国際ロータリーのテーマ

例会記録 (2003. 10. 22 (水)) 通算1231回

ソング	「奉仕の理想」「歓迎歌」		
来訪ロータリアン報告(小西)	米山奨学生 丁旭様		
本日のゲスト	濱尾 繁様 (高砂R.C.) 脇谷 政孝様 (高砂R.C.)		
出席報告(田中)	10月1日	会員数49名	欠席者2名 出席率95.92% <修正による>
	10月22日	会員数49名	欠席者19名 出席率69.39%
ニコニコ報告	濱尾 繁 …… ロータリー財団月間に因んで、来る11月7日、大森千里先生に卓話を頂きます。御多忙の中御世話になります。 増田 耕太郎 …… 秋祭りも終わりました。お世話になりました皆様から御礼申し上げます。		

プログラム予定

10月22日(水)	10月29日(水)	11月5日(水)	11月16日(日)
卓話 米山奨学委員会担当	卓話 日本カルチャー研究所 「オゾンの有用性」	卓話 ロータリー財団委員会担当	市内在住外国人との 交流会 於:市ノ池公園

会長 田水敬雄 幹事 内橋英昭 クラブ会報委員長 大橋卓司
例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

内 橋 英 昭 …… 本日の卓話 丁さん、よろしくお願ひ致します。
森 脇 祥 文 …… 西野さん、松尾さん、渡辺先生、庄司先生、本日は楽し
い1日ありがとう御座居ました。
岡 本 崇 司 …… 丁旭様、本日は卓話をお願いします。
小 林 久 夫 …… 早退いたします。
中 右 和 宏・吉 田 一 富
…… 早退致します。
井 野 隆 弘 …… 早退致します。
アートサロン内垣 …… 例会の貴重なお時間を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

幹 事 報 告

第15回 通算1169回

1. 国際ロータリー会長 ジョナサンB. マジリアベ様より
第95回 国際ロータリー年次大会（2004年5月23～26日）への参加のご
依頼が届いております。開会式は5月23日（日）で大阪ドームで開催さ
れます。現段階の参加希望者の出欠を取らせて頂きます。
2. 11月30日（日）の I. M. の出欠を取らせていただきますので宜しくお願
ひ致します。
3. ガバナー事務所より
第4回 日豪親睦ゴルフ大会のご案内が届いております。
と き：2004年1月28日（水）～2月2日（月）
ところ：オーストラリアのサンシャインコースト
4. 兵庫県共同募金会より
赤い羽根共同募金運動への協力についてのお礼状が届いております。
5. 神戸西神ロータリークラブより
創立20周年記念誌が届いております。
以上、回覧をさせていただきます。
6. 例会変更
加古川ロータリークラブ
11/4（火）⇒ 11/2（日）～11/3（祝） 会員一泊旅行のため
於：下関方面
11/25（火）⇒ 東播第2グループ I.M. のため

加古川中央ロータリークラブ

11/13（木）⇒ 11/15（土）～11/16（日）

会員一泊旅行のため 於：京都方面

11/27（木）⇒ 東播第2グループ I.M. のため

加古川平成ロータリークラブ

10/22（水）⇒ 職場例会のため 於：大河内発電所

10/29（水）⇒ 休会

11/26（水）⇒ 東播第2グループ I.M. のため

明石ロータリークラブ

11/19（水）⇒ 職場例会のため 於：江井ヶ嶋酒造

明石西ロータリークラブ

11/20（木）⇒ 休会

11/27（木）⇒ 「2000回記念例会」のため移動例会

姫路中央ロータリークラブ

11/13（木）⇒ 11/15（土）・11/16（日）親睦一泊旅行の為 於：広島

11/27（木）⇒ 11/26（水）社会奉仕活動（献血運動）の為
於：姫路リバーシティ

会 長 の 時 間

去る10月8日東播第2グループ I.M.開催についての会長・幹事協議会に内
橋幹事と共に出席いたしましたので、ご報告いたします。

・ I.M. 日 時：11月30日（日）

登録受付10時 開会10時30分 閉会17時

会 場：加古川市民会館 加古川市北在家200

登録料：10,000円（全員登録）

テーマ：青少年育成について～「ゆめコンサートてっぺん」

各クラブの青少年育成についての現況報告（10分間）

・ 地区大会 2004年2月7日（土）8日（日）の登録については、ガバナー
の強い要請に従い当グループの他クラブは全員登録するようです。会計報
告をして下さるよう今井ガバナー補佐をお願いしておきました。

・ 大阪国際大会の登録についてガバナーの考えとしては75%を目指して欲し
いという事のように、各クラブとも現段階では思案中とのことでした。

今日は、中国に進出している日本企業について、少しお話しさせて頂きたいと思います。

私は、今、大学院で経済を勉強していますが、留学生として出来れば中国のみならず、中国と日本の企業の経営を促進させることを目指しています。

現在、中国に進出している日本企業はたくさんありますが、儲かっているところもあれば、そうでない会社もあります。このあいだ、大阪の日中経済協会関西本部の方にお聞きしたところ、おおよその現状は、経営がすごくうまくいっている会社は、全体の3割くらい、まあまあのところは、約2割、少し赤字になっているのが約2割、たいへん厳しい状況の企業が3割くらい、というような割合になっているようです。

中国で、なぜうまくいっていないのか、どうしてそういう状況になってしまうのかについて、今から述べさせていただきます。

日本の企業が中国に進出した際には、多くの課題に直面しなければなりません。

まず第一は、中国の行政上の問題です。

日本企業が中国で生産・販売活動を行なう際、必要な原料や部品等を輸入しようとするれば、政府の許可が必要です。その許可をうまく得たところもありますが、政府とうまくコミュニケーションがとれず、なかなか許可が得られないケースも多々あります。その結果、中国国内で製品の販売が出来なくなってしまうということになります。又、許可をとるのに大変時間がかかります。極端な話ですが、申請してから1年以上も待たなければならなかったケースもあります。1年にもなると、中国国内の市場変化が激しい為、市場が変わってしまい、結局、企業としては、難しい対応を迫られるような事例もありました。

次に、法律の問題です。

中国は、今、よく法律が変わるという苦情があります。法律や政策がしばしば変更され、かつ、外国企業には事前の通知もなされない。したがって外国企業としては、非常に対応しにくい現状となっています。

また、中国では、中央政府と地方政府、あるいは政府間の各部門でも政策や規制に対する共通した判断基準が、あまりありません。

中国で多くの合弁企業を設立している、ある日系企業のマネジャーいわく、「ある地方では、当地の利益の海外送金は自由であるというのに、別の地方では、認められていないという現状もある。」

つまり、法律上は、認められていても、運用面や解釈で異なっていると言えます。こうした合弁企業を創る場合にも、色々と問題が生じています。

例えば、ある中国企業は、日本側の資金や先端技術にしか興味をもっていない。言い換えれば、長期的な利益には関心が薄く、資金や技術を手に入れてしまえば、日本企業を追い出そうとするケースもあるようです。

また、日本の方も、現地の人材の育成については、頭を悩ませています。

現地で社員を採用し、何年かお金をかけて社内の研修を実施し、やっと仕事が出来ようになったら、その従業員がさっさとやめてしまう場合がたくさんあります。このことはやはり、中国の意識の問題だろうと思います。中国には、終身雇用とかはなく、どちらかと言えば、アメリカ企業に似ています。能力主義というのが常識で、能力さえあれば、ずっと同じ会社にいるのではなく、どんどん給料の高い会社に移ろうという意識になっています。

ですから日本企業としては、どういう風にして、育てた人材を守るかが、課題になっています。

しかし、この問題について、私個人としては、十分解決出来ると思っています。具体的には、日本企業が中国進出の際、あまり現地の人を信用せず、